

令和4年度 第5回 広報公聴委員会 会議録

開催日	令和4年10月 5日(水)
会議時間	午前10時00分 ~ 午前11時37分
開催場所	佐倉市議会 議会棟1階 全員協議会室
出席委員等	[委員長] 爲田 浩 [副委員長] 徳永 由美子 [委員] 高橋 とみお、宇田 実生子、鍋田 達子、密本 成章、 斎藤 明美、五十嵐 智美、萩原 陽子
欠席委員等	岡野 敦
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 三須 裕文 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明、久保田 雅子、里吉 奏子
協議事項	(1) 議会だより(8月定例会号)について (2) 意見交換会について

【決定事項】

(1) 議会だより(8月定例会号)について

- 5頁の用語解説、オーガニックビレッジについては、担当課確認済みの文面ではあるが、事務局で改めて確認し、必要があれば校正する。
- 議会百景の一部原稿については、執筆者に再検討いただき、再提出の原稿は委員長と副委員長で確認する。

(2) 意見交換会について

- 各会派等で作成したアンケート案を基に、カテゴリーを分けて整理したものを、次回委員会で改めて提示する。

【主な意見等】

(1) 議会だより(8月定例会号)について

議会百景についての意見

- ・ 議会百景は、編集後記に当たるものであり、編集に携わった委員が委員としての言葉を書くというようなことが適切であると考えている。一部執筆者の原稿を読むと、会派等の意見の部分で補足しているかのように使用されているということに違和感を覚える。
- ・ 事実のみ、自分の感想なりを述べるような組み立てだったら違和感がないと思う。
- ・ 議案に対する私見が強くて、少し違和感があるという印象を持った。
- ・ 過去の議会百景では、これからの抱負のようなことも書いていたので、編集後記だけでなく自分の考えもある程度入れても構わないと思う。
- ・ 議会百景なので編集後記ではないと思う。議会について議員が一番思うところを書いて自由な書き方でよいと思う。
- ・ 委員に与えられているスペースであり、物事を主張するものではない。
- ・ 議会百景は、編集後記でなく議会のありようを皆さんに伝えるための部分と捉えている。
- ・ 委員として物を言うべきと言うが、過去の事例を調べると、委員としてではなく議員として議案に直接物を言っているのはたくさんある。かつ、私見を述べている物もある。
- ・ 過去は過去の経緯がある。規定をつくるよりも、委員の中で議論する中でやっていくのが一番よいと思う。

- ・規定をつくることになると、制限する議会になってしまう。
- ・議会百景の定義を設けることは避けたい。編集委員の中で違和感がある以上、それを踏まえた上で検討をしていただきたい。
- ・議会百景の意義が不明確であるのならば、今後は委員長・副委員長に任せた編集後記とするのも一つではないか。
- ・過去は様々な例があるが、広報公聴委員としての視点だけは持つことがふさわしいと思う。自分の立ち位置をどこに置くかということを考えて文章を書いていただきたい。
- ・広報公聴委員としての意味は、皆さんに広く分かりやすく伝えるという視点で議会をお知らせすることだと思う。
- ・議会百景の定義はないため、これを前例とせず、都度異論ができれば委員会の中で議論してほしい。

(2) 意見交換会について

- ・アンケート項目に保護者の年収などを入れると、クロス集計でどの層にどのくらいかが分かるが、一方で、プライバシーの関係でなかなか答えにくい話なので、それについてどう考えるかを各会派で検討いただければと思う。
- ・自由記述はなるべく少なくして、選択式にしないと、なかなか答えをいただけないと思う。
- ・保育園、幼稚園、認定こども園、学童保育の子どもが調査対象であるが、学童になると設問の内容も変わる。それを事前に話し合ったほうがよいと思う。
- ・自由記述は、設問では捉えられなかった意見もあると思うので取り入れたい。
- ・相談窓口を最後の設問に入れることで、子どもに何かあったときに、ここにコンタクトをとってほしいという気持ちを込めて、最後に市の相談窓口ということを入れた。

【次回の開催について】

令和4年10月18日（火）午前10時から委員会を開催する。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 爲田 浩